

第32回（令和元年度）介護福祉士国家試験 筆記試験午後の問題

<領域：こころとからだのしくみ>

発達と老化の理解

問題69 Aちゃん（1歳3か月）は、父親に抱かれて散歩中である。前方から父親の友人がやってきて、父親がにこやかに友人と話をしていると、Aちゃんは父親にしがみつき、父親の顔と父親の友人の顔を交互に見ている。しばらくすると、Aちゃんは緊張が解けた様子で、友人が立ち去るときには少し笑顔を見せた。Aちゃんの様子を説明する用語として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 3か月微笑
- 2 社会的参照
- 3 クーイング
- 4 自己中心性
- 5 二項関係

問題70 高齢者の年齢規定に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 高年齢者等の雇用の安定等に関する法律では、高年齢者を75歳以上としている。
- 2 「高齢者虐待防止法」では、高齢者を65歳以上としている。
- 3 高齢者の医療の確保に関する法律では、後期高齢者を65歳以上としている。
- 4 道路交通法では、免許証の更新の特例がある高齢運転者を60歳以上としている。
- 5 老人福祉法では、高齢者を55歳以上としている。

（注） 「高齢者虐待防止法」とは、「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」のことである。

問題71 加齢に伴う嚥下機能〔えんげきのう〕の低下の原因に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 舌骨の位置の上昇
- 2 咽頭の位置の上昇
- 3 舌骨上筋の増大
- 4 喉頭挙上の不足
- 5 咳嗽反射〔がいそうはんしゃ〕の増強

問題72 老年期の記憶と注意機能に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 自分の若い頃の記憶では、40歳代の頃の出来事をよく覚えている。
- 2 数字の逆唱課題で答えられる数字の個数は、加齢による影響を受けない。
- 3 複数のことを同時に行う能力は、加齢によって低下する。
- 4 騒がしい場所での作業効率は、若年者より高齢者が高い。

5 エピソード記憶は、加齢による影響を受けない。

問題73 高齢者において、心不全（heart failure）が進行したときに現れる症状に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 安静にすることで速やかに息切れが治まる。
- 2 運動によって呼吸苦が軽減する。
- 3 チアノーゼ（cyanosis）が生じる。
- 4 呼吸苦は、座位より仰臥位（背臥位）の方が軽減する。
- 5 下肢に限局した浮腫が生じる。

問題74 Bさん（82歳、男性）は脳卒中（stroke）による右片麻痺がある。ほとんどベッド上の生活で、排泄【はいせつ】もおむつを使用している。一週間前から咳【せき】と鼻汁があり、37.2℃の微熱で、元気がなく、いつもよりも動きが少なかった。食欲も低下して食事を残すようになっていた。今日、おむつの交換をしたときに仙骨部の皮膚が赤くなり一部に水疱【すいほう】ができていた。Bさんの皮膚の状態とその対応に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 圧迫によって血流が悪くなったためである。
- 2 仙骨部にこうしたことが起こるのは、まれである。
- 3 食事量の低下とは無関係である。
- 4 体位変換は、できるだけ避ける。
- 5 おむつの交換は、できるだけ控える。

問題75 次のうち、高齢者の栄養状態を良好に維持するための対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 歯科健康診査を受ける。
- 2 複数の薬剤を併用する。
- 3 外出を控える。
- 4 一人で食事をする。
- 5 たんぱく質を制限する。

問題76 糖尿病（diabetes mellitus）のある高齢者（要介護1）が転倒して、骨折（fracture）した。入院治療後に再び自宅療養を続けるための専門職の役割として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 看護師は、糖尿病（diabetes mellitus）の薬の処方箋を交付する。
- 2 理学療法士は、糖尿病（diabetes mellitus）の食事メニューを考える。
- 3 管理栄養士は、自宅で料理ができるような作業訓練をする。
- 4 訪問介護員（ホームヘルパー）は、居宅サービス計画を立案する。
- 5 介護支援専門員（ケアマネジャー）は、訪問リハビリテーションの利用を提案する。

認知症の理解

問題77 2012年（平成24年）の認知症高齢者数と2025年（平成37年）の認知症高齢者数に関する推計値（「平成29年版高齢社会白書」（内閣府））の組合せとして、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 162万人 約400万人
- 2 262万人 約500万人
- 3 362万人 約600万人
- 4 462万人 約700万人
- 5 562万人 約800万人

（注）平成37年とは令和7年のことである。

問題78 認知症（dementia）の行動・心理症状（BPSD）に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 トイレの水を流すことができない。
- 2 物事の計画を立てることができない。
- 3 言葉を発することができない。
- 4 親しい人がわからない。
- 5 昼夜逆転が生じる。

問題79 高齢者のせん妄（delirium）の特徴として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 薬剤によって生じることがある。
- 2 症状の変動は少ない。
- 3 意識レベルは清明であることが多い。
- 4 徐々に悪化するが多い。
- 5 幻覚を伴うことは少ない。

問題80 認知症（dementia）の初期症状に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 血管性認知症（vascular dementia）では、幻視が認められる。
- 2 正常圧水頭症（normal pressure hydrocephalus）では、歩行障害が認められる。
- 3 前頭側頭型認知症（frontotemporal dementia）では、エピソード記憶の障害が認められる。
- 4 アルツハイマー型認知症（dementia of the Alzheimer's type）では、失禁が認められる。
- 5 レビー小体型認知症（dementia with Lewy bodies）では、もの盗【と】られ妄想が認められる。

問題81 認知症（dementia）の発症リスクを低減させる行動に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 抗認知症薬を服用する。
- 2 睡眠時間を減らす。
- 3 集団での交流活動に参加する。

- 4 運動の機会を減らす。
- 5 飽和脂肪酸を多く含む食事を心がける。

問題82 抗認知症薬に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 若年性アルツハイマー型認知症 (dementia of the Alzheimer's type with early onset) には効果がない。
- 2 高度のアルツハイマー型認知症 (dementia of the Alzheimer's type) には効果がない。
- 3 レビー小体型認知症 (dementia with Lewy bodies) には効果がない。
- 4 症状の進行を完全に止めることはできない。
- 5 複数の抗認知症薬の併用は認められていない。

問題83 前頭側頭型認知症 (frontotemporal dementia) の症状のある人への介護福祉職の対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 周回がある場合は、GPS追跡機で居場所を確認する。
- 2 甘い食べ物へのこだわりに対しては、甘い物を制限する。
- 3 常同行動がある場合は、本人と周囲の人が納得できる生活習慣を確立する。
- 4 脱抑制がある場合は、抗認知症薬の服薬介護をする。
- 5 施設内で職員に暴力をふるったときは、警察に連絡する。

問題84 Cさん(78歳、男性、要介護2)は、4年前にアルツハイマー型認知症 (dementia of the Alzheimer's type) と診断を受け、通所介護(デイサービス)を週1回利用している。以前からパソコンで日記をつけていたが、最近はパソコンの操作に迷い、イライラして怒りっぽくなったと娘から相談を受けた。介護福祉職が娘に対して最初に行う助言の内容として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 パソコンの処分
- 2 パソコンの使い方の手助け
- 3 日記帳の購入
- 4 薬物治療について主治医に相談
- 5 施設入所について介護支援専門員(ケアマネジャー)に相談

問題85 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)で生活している軽度のアルツハイマー型認知症 (dementia of the Alzheimer's type) のDさんは、大腿骨【だいたいこつ】の頸部【けいぶ】を骨折(fracture)して入院することになった。認知症対応型共同生活介護(グループホーム)の介護福祉職が果たす役割として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 理学療法士に、リハビリテーションの指示をしても理解できないと伝える。
- 2 介護支援専門員(ケアマネジャー)に、地域ケア会議の開催を依頼する。
- 3 医師に、夜間は騒ぐ可能性があるので睡眠薬の処方を依頼する。
- 4 看護師に、日常生活の状況を伝える。
- 5 保佐人に、治療方法の決定を依頼する。

問題86 Eさん（75歳、男性）は、1年ほど前に趣味であった車の運転をやめてから、やる気が起こらなくなり自宅に閉じこもりがちになった。そのため、家族の勧めで介護予防教室に参加するようになった。最近、Eさんは怒りっぽく、また、直前の出来事を覚えていないことが増え、心配した家族が介護福祉職に相談した。相談を受けた介護福祉職の助言として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「認知症（dementia）でしょう」
- 2 「趣味の車の運転を再開するといいでしょう」
- 3 「老人クラブに参加するといいでしょう」
- 4 「音楽を流して気分転換するといいでしょう」
- 5 「かかりつけ医に診てもらおうといいでしょう」

障害の理解

問題87 I C I D H（International Classification of Impairments, Disabilities and Handicaps：国際障害分類）における能力障害として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 日常生活動作（Activities of Daily Living：ADL）の障害
- 2 運動麻痺
- 3 失語
- 4 職場復帰困難
- 5 経済的不利益

問題88 「障害者差別解消法」に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 法の対象者は、身体障害者手帳を持っている人である。
- 2 合理的配慮とは、全ての障害者に同じ配慮をすることである。
- 3 共生社会の実現を目指している。
- 4 障害者は、合理的配慮の提供に努めなければならない。
- 5 障害者差別解消支援地域協議会は、民間事業者で組織される。

（注） 「障害者差別解消法」とは、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」のことである。

問題89 痙直型 {けいちよくがた} や不随意運動型（アテトーゼ型（athetosis））などの分類がある疾患として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 筋ジストロフィー（muscular dystrophy）
- 2 脊髄小脳変性症（spinocerebellar degeneration）
- 3 脳血管疾患（cerebrovascular disease）
- 4 脳性麻痺（cerebral palsy）
- 5 脊髄損傷（spinal cord injury）

問題90 内因性精神障害に分類される疾患として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 脳腫瘍 (brain tumor)
- 2 アルコール依存症 (alcohol dependence)
- 3 パニック障害 (panic disorder)
- 4 認知症 (dementia)
- 5 統合失調症 (schizophrenia)

問題91 Fさん(26歳)は重度の知的障害があり、施設入所支援を利用している。

次のうち、Fさんが地域移行するときの社会資源として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ケアハウス
- 2 共同生活援助(グループホーム)
- 3 自立支援医療
- 4 精神科病院
- 5 同行援護

問題92 自閉症スペクトラム障害 (autism spectrum disorder) の特性として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 読み書きの障害
- 2 社会性の障害
- 3 注意の障害
- 4 行為障害
- 5 運動障害

問題93 筋萎縮性側索硬化症 (amyotrophic lateral sclerosis : ALS) に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 免疫疾患である。
- 2 振戦や筋固縮が主な症状である。
- 3 視力や聴力は保たれる。
- 4 運動失調が現れる。
- 5 全身の臓器に炎症を起こす。

問題94 Gさん(56歳、男性)は、糖尿病性網膜症 (diabetic retinopathy) に伴う眼底出血を繰り返して、治療を受けていた。医師から失明は避けられないと説明を受けた。その後、Gさんは周囲に怒りをぶついたり、壁に頭を打ちついたりという行動がみられるようになった。このときのGさんの障害受容の状況として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ショックではあるが、不安はそれほど強くない。
- 2 自分には障害はないと否認する。
- 3 前向きに自己努力を込めようとする。
- 4 否認ができずに混乱する。

5 新しい価値観や役割を見いだす。

問題95 パーキンソン病 (Parkinson disease) のHさんは、最近、立位時の前傾姿勢が強くなり、歩行時の方向転換が不安定になり始めた。日常生活動作には介助を必要としない。Hさんのホーエン・ヤール重症度分類として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ステージⅠ
- 2 ステージⅡ
- 3 ステージⅢ
- 4 ステージⅣ
- 5 ステージⅤ

問題96 制度化された地域の社会資源として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 家族会が行う悩み相談
- 2 近隣の住民からの善意の声かけ
- 3 同居家族が行う身の回りの介護
- 4 コンビニエンスストアによる見守り
- 5 民生委員が行う相談・援助

こころとからだのしくみ

問題97 マズロー (Maslow, A.) の欲求階層説の所属・愛情欲求に相当するものとして、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 生命を脅かされないこと
- 2 他者からの賞賛
- 3 自分の遺伝子の継続
- 4 好意がある他者との良好な関係
- 5 自分自身の向上

問題98 皮膚の痛みの感覚を受け取る脳の機能局在の部位として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 頭頂葉
- 2 前頭葉
- 3 側頭葉
- 4 後頭葉
- 5 大脳辺縁系

問題99 爪や指の変化と、そこから推測される疾患・病態との組合せとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 爪の白濁 チアノーゼ (cyanosis)

- 2 巻き爪 心疾患
- 3 さじ状爪 鉄欠乏性貧血 (iron deficiency anemia)
- 4 ばち状指 栄養障害
- 5 青紫色の爪 爪白癬 {つめはくせん}

問題100 口臭に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 歯がない場合に起こりやすい。
- 2 唾液量が多いと生じる。
- 3 ウイルス感染の原因となることがある。
- 4 食事量が増加した場合に起こりやすい。
- 5 他者との交流を避ける原因となることがある。

問題101 高齢者の大腿骨頸部骨折 {だいたいこつけいぶこっせつ} (femoral neck fracture) に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 転落によって生じることが最も多い。
- 2 骨折 (fracture) の直後は無症状である。
- 3 リハビリテーションを早期に開始する。
- 4 保存的治療を行う。
- 5 予後は良好である。

問題102 摂食・嚥下 {えんげ} のプロセスに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 先行期は、唾液分泌が増加する。
- 2 準備期は、嚥下性無呼吸 {えんげせいむこきゅう} がみられる。
- 3 口腔期 {こうくうき} は、喉頭が閉鎖する。
- 4 咽頭期は、食塊を形成する。
- 5 食道期は、随意的な運動である。

問題103 Jさん (80歳、男性) は、アルツハイマー型認知症 (dementia of the Alzheimer's type) と診断され、半年前から認知症対応型共同生活介護 (グループホーム) に入居している。最近、Jさんは、トイレに行きたいと言ってグループホーム内を歩き回った後に、失禁するようになった。Jさんの排泄 {はいせつ} の状態として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 反射性尿失禁
- 2 心因性頻尿
- 3 溢流性尿失禁 {いつりゅうせいにようしっきん}
- 4 機能性尿失禁
- 5 腹圧性尿失禁

問題104 正常な尿に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 1日に約1gのたんぱく質が排出される。
- 2 1日に約10gのブドウ糖が排出される。
- 3 排尿直後はアンモニア臭がする。
- 4 排尿直後はアルカリ性である。
- 5 排尿直後は淡黄色で透明である。

問題105 弛緩性便秘〔しかんせいべんぴ〕の原因に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 食物繊維の摂取不足
- 2 排便を我慢する習慣
- 3 腹圧の低下
- 4 大腸のけいれん
- 5 がん(cancer)による通過障害

問題106 抗ヒスタミン薬の睡眠への影響として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 就寝後、短時間で覚醒する。
- 2 夜間に十分睡眠をとっても、日中に強い眠気がある。
- 3 睡眠中に足が痛がゆくなる。
- 4 睡眠中に無呼吸が生じる。
- 5 夢の中の行動が、そのまま現実の行動として現れる。

問題107 終末期に自分が望むケアをあらかじめ書面に示しておくことを表す用語として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 ターミナルケア (terminal care)
- 2 インフォームドコンセント (informed consent)
- 3 リビングウィル (living will)
- 4 デスカンファレンス (death conference)
- 5 グリーフケア (grief care)

問題108 死亡直前にみられる身体の変化として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 関節の強直
- 2 角膜の混濁
- 3 皮膚の死斑〔しはん〕
- 4 下顎呼吸の出現
- 5 筋肉の硬直

<領域：医療的ケア>

医療的ケア

問題109 介護福祉士が医師の指示の下で行う喀痰吸引 {かくたんきゅういん} の範囲として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 咽頭の手前まで
- 2 咽頭まで
- 3 喉頭まで
- 4 気管の手前まで
- 5 気管分岐部まで

問題110 2011年(平成23年)の社会福祉士及び介護福祉士法の改正に基づいて、介護福祉士による実施が可能になった喀痰吸引等 {かくたんきゅういんとう} の制度に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 喀痰吸引 {かくたんきゅういん} や経管栄養は、医行為から除外された。
- 2 喀痰吸引等 {かくたんきゅういんとう} を行うためには、実地研修を修了する必要がある。
- 3 介護福祉士は、病院で喀痰吸引 {かくたんきゅういん} を実施できる。
- 4 介護福祉士は、この制度の基本研修の講師ができる。
- 5 実施できる行為の一つとして、インスリン注射がある。

問題111 Kさん(76歳)は、日頃から痰 {たん} がからむことがあり、介護福祉士が喀痰吸引 {かくたんきゅういん} を行っている。鼻腔内吸引 {びくうないきゅういん} を実施したところ、吸引物に血液が少量混じっていた。Kさんは、「痰 {たん} は取り切れたようだ」と言っており、呼吸は落ち着いている。このときの介護福祉士の対応に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 出血していそうなところに吸引チューブをとどめる。
- 2 吸引圧を弱くして再度吸引をする。
- 3 血液の混じりがなくなるまで繰り返し吸引をする。
- 4 鼻腔 {びくう} と口腔 {こうくう} の中を観察する。
- 5 鼻腔内 {びくうない} を消毒する。

問題112 口腔内 {こうくうない} ・鼻腔内 {びくうない} の喀痰吸引 {かくたんきゅういん} に必要な物品の管理に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 吸引チューブの保管方法のうち、乾燥法では、浸漬法 {しんしほう} に比べて短時間で細菌が死滅する。
- 2 浸漬法 {しんしほう} で用いる消毒液は、72時間を目安に交換する。
- 3 吸引チューブの洗浄には、アルコール消毒液を用いる。
- 4 吸引チューブの洗浄水は、24時間を目安に交換する。
- 5 吸引物は、吸引びんの70～80%になる前に廃棄する。

問題113 経管栄養の実施時に、冷蔵庫に保管していた栄養剤を指示どおりの温度にせずそのまま注入したときに起こる状態として、最も可能性の高いものを1つ選びなさい。

- 1 呼吸困難
- 2 胃ろう周囲のびらん
- 3 下痢
- 4 褥瘡〔じょくそう〕
- 5 低血糖

<総合問題>

総合問題

(総合問題1)

次の事例を読んで、問題114から問題116までについて答えなさい。

〔事例〕

Lさん(78歳、女性)は一人暮らしをしている。「もったいない」が口癖で、物を大切にし、食べ物を残さないようにして生活している。

半年前、脳の細い血管が詰まっていることがわかり、入院して治療を受けた。左半身にしびれがあり、右膝の変形性関節症(osteoarthritis)で痛みもあったために、介護保険の申請をしたところ、要介護1になった。

家事はできるだけ自分でしたいという希望から、週に2回、訪問介護(ホームヘルプサービス)を利用して、掃除と調理を訪問介護員(ホームヘルパー)と一緒にしている。

問題114 Lさんが入院するきっかけになった脳の疾患として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ラクナ梗塞(lacunar infarction)
- 2 くも膜下出血(subarachnoid hemorrhage)
- 3 慢性硬膜下血腫(chronic subdural hematoma)
- 4 正常圧水頭症(normal pressure hydrocephalus)
- 5 高次脳機能障害(higher brain dysfunction)

問題115 ある日、Lさんと一緒に調理していた訪問介護員(ホームヘルパー)は、賞味期限が2日前に切れた缶詰を見つけた。

Lさんに対して訪問介護員(ホームヘルパー)がとる行動として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 黙って処分する。
- 2 食べてはいけないと伝える。
- 3 食べやすいように、缶のふたを開けておく。
- 4 食べ方を相談する。
- 5 保存容器に移して保管するように勧める。

問題116 介護保険の申請をしてから半年がたち、更新申請の時期になった。この半年でLさんは、訪問介護員（ホームヘルパー）が来ない日もいすに座って調理をするなど、回復してきている。更新申請の結果、Lさんは要支援1になった。次のうち、Lさんの介護予防サービス・支援計画書を作成する者として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 訪問介護事業所の訪問介護員（ホームヘルパー）
- 2 生活支援体制整備事業の生活支援コーディネーター
- 3 地域包括支援センターの主任介護支援専門員
- 4 訪問介護事業所のサービス提供責任者
- 5 生活介護のサービス管理責任者

（総合問題2）

次の事例を読んで、問題117から問題119までについて答えなさい。

〔事例〕

Mさん（80歳、男性）は、2年前にアルツハイマー型認知症（dementia of the Alzheimer's type）と診断された。Mさんは自宅で暮らし続けることを希望して、介護保険サービスを利用しながら妻と二人で生活していた。

その後、Mさんの症状が進行して妻の介護負担が大きくなったため、Mさんは、U社会福祉法人が運営する介護老人福祉施設に入所することになった。

Mさんの入所当日、担当のA介護福祉職は、生活相談員が作成した生活歴や家族構成などの基本情報の記録を事前に確認した上で、Mさんと関わった。

問題117 次のうち、A介護福祉職が確認した記録として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 施設サービス計画書
- 2 インシデント報告書
- 3 エコマップ
- 4 プロセスレコード
- 5 フェイスシート

問題118 入所当日の昼食後、A介護福祉職はMさんに歯ブラシと歯磨き粉を渡して、歯磨きを促した。しかし、Mさんは歯ブラシと歯磨き粉を持ったまま、不安そうな顔で歯を磨こうとしなかった。このときのMさんの症状に該当するものとして、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 幻視
- 2 失行
- 3 振戦
- 4 脱抑制
- 5 常同行動

問題119 面会に訪れた妻はA介護福祉職に、「最初は夫を施設に入れて申し訳ない気持ちもあったが、元気そうな夫を見て、今はこの施設を利用してよかったと思っている」と話した。A介護福祉職は妻の発言を受けて、介護サービスをもっと気軽に利用してもらうための取り組みが必要であると考えた。そこで、A介護福祉職は施設職員と検討した。その結果、地域の家族介護者を対象に、介護に関する情報提供や交流を図る場を無料で提供することを、独自の事業として継続的に行うことを法人として決定した上で、必要な手続きを行うこととした。U社会福祉法人が行うこととした事業に該当するものとして、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 公益事業
- 2 日常生活自立支援事業
- 3 相談支援事業
- 4 自立相談支援事業
- 5 地域生活支援事業

(総合問題3)

次の事例を読んで、問題120から問題122までについて答えなさい。

〔事例〕

Bさん(22歳、男性)は、19歳の時に統合失調症(schizophrenia)を発症し、精神保健指定医の診察の結果、入院の必要があると診断された。Bさん自身からは入院の同意が得られず、父親の同意で精神科病院に入院した。

その後、数回の入退院を繰り返した後、21歳から居宅介護を週1回、訪問看護を月2回、デイケアを週3回利用しながら一人暮らしをしている。

居宅介護では、料理や掃除、買物などの介護福祉職の支援を受けているが、Bさんも調子の良いときは一緒に行っている。訪問看護では、Bさんは、服薬を忘れることがあるため、看護師と一緒に薬の飲み忘れがないかを確認している。また、デイケアでは、運動と園芸のグループに参加している。

問題120 Bさんが19歳で精神科病院に入院したときの入院形態として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 任意入院
- 2 医療保護入院
- 3 応急入院
- 4 措置入院
- 5 緊急措置入院

問題121 Bさんは、居宅介護のC介護福祉職にはデイケアや生活のことについて安心して話すようになってきた。ある日、C介護福祉職が掃除をしていて、薬が2週間分内服されていないことを見つけた。また、Bさんは、「Cさんにだけ話します。みんなが私の悪口を言って、電波を飛ばして監視して

います」とおびえながら話した。話を聞いたC介護福祉職のBさんに対する最初の言葉かけとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「今すぐ薬を飲んでください」
- 2 「悪口の内容を詳しく教えてください」
- 3 「薬を飲んでいないからですよ」
- 4 「医師に話しておきますね」
- 5 「それは不安ですね」

問題122 Bさんは、C介護福祉職と話したことをきっかけに、定期的に服薬できるようになり、以前と同じ支援を受けながら一人暮らしを続けている。最近、デイケアで就労を目指すグループ活動に自ら参加するようになった。Bさんは、「就労に挑戦してみたい」という気持ちはあるが、就労経験のある他のメンバーの失敗談を聞くと、「自信がない」とも言っている。Bさんへの支援に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 自分で料理と掃除ができるようになることが優先であると話す。
- 2 服薬ができなかったことを取り上げ、治療に専念するように話す。
- 3 無理せず、今の生活を維持することが大切であると話す。
- 4 長所を一緒に探し、どのような仕事に向いているのかを考えようと話す。
- 5 他のメンバーの失敗原因を考え、失敗しない対策をしようと話す。

(総合問題4)

次の事例を読んで、問題123から問題125までについて答えなさい。

〔事例〕

Dさん(59歳、女性)は30年前に関節リウマチ(rheumatoid arthritis)を発症して、現在、障害者支援施設に入所している。

Dさんは、朝は手の動きが悪く痛みがあるが、午後、痛みが少ないときは関節を動かす運動を行っている。足の痛みで歩くのが難しく車いすを使用しているが、最近手の痛みが強くなり、自分で操作することが難しい。また、食欲がなく、この1か月間で体重が2kg減っている。夜中に目が覚めてしまうこともある。

問題123 Dさんの朝の症状の原因として、最も可能性が高いものを1つ選びなさい。

- 1 睡眠不足
- 2 低栄養
- 3 平衡感覚の低下
- 4 筋力低下
- 5 関節の炎症

問題124 使っていた車いすを自分で操作することが困難になったDさんが、「障害者総合支援法」で電動車いすを購入するときに利用できるものとして、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 介護給付費
- 2 補装具費
- 3 自立支援医療費
- 4 訓練等給付費
- 5 相談支援給付費

(注) 「障害者総合支援法」とは、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」のことである。

問題125 Dさんは、「ここ数日、朝だけでなく1日中、何もしないのに手足の痛みが強くなってきた」と訴えている。

日常生活で、Dさんが当面留意すべきこととして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 前あきの衣類より、かぶりの衣類を選ぶ。
- 2 ベッドのマットレスは、柔らかいものを使用する。
- 3 関節を動かす運動を控える。
- 4 できるだけ低いいすを使う。
- 5 頸部 {けいぶ} が屈曲位になるように、高めの枕を使用する。

[「第32回音声読み上げ用筆記試験問題一覧」のページに戻る](#)